

政治家は倫理社会を履修せよ

戸田 粧子

ボケたとして感動はする泣きもする

藤井 節子

紅葉を待っているのに冬便り

竹本 タエ子

能登の地に何の恨みぞ地震豪雨

佐藤 哲夫

女子会にじじいが一人うちの夫

田中 たづ子

せいじかはりんりしゃかいをりしゅうせよ

とだ まさこ

ぼけたとてかんどうはするなきもする

ふじい せつこ

こうようをまっているのにふゆだより

たけもと たえこ

のとのちになんのうらみぞじしんあめ

さとう てつお

じょしかいにじじいがひとりうちのつま

たなか たづこ

冬めいて空に息吐く登校児

林 保江

こきざみに風と綱引き鬼蜻蜓

河野 怜子

天上へ続く家々蕎麦の花

山本 隆子

穂穂の薄青浸みる潦

藤岡 久美子

長き夜やとりとめの無き長電話

村瀧 富子

ふゆめいてそらにいきはくとうこうじ

はやし やすえ

こきざみにかぜとつなひきおにやんま

かわの れいこ

てんじょうへつづくいえいえそばのはな

やまもと たかこ

ひつじほのうすあおしみるにわたずみ

ふじおか くみこ

ながきよやとりとめのなきながでんわ

むらたき とみこ

こども食堂オカリナひびくひだまりに
お腹いっぱい笑顔の花よ

松本 真実

秋日和神社で昼寝する猫を
起こさぬように柏手を打つ

賤間 星

老夫は言う市の広報で一番は
誕生祝う赤ちゃんのページ

福江 博子

今の事忘れる事の多けれど
それでも出来る昔話しは

原野 時子

心こめ縫われし干支の縫いぐるみ
今年も客に愛でられ座る

河野 敬子

こどもしよくどうおかりなひびくひだまりに
おなかいっぱいえがおのはなよ

まつもと まみ

あきびよりじんじゃでひるねするねこそ
おこさぬようにかしわでをうつ

ざいま せい

つまはいうしのこうほうでいちばんは
たんじょういわうあかちゃんのページ

ふくえ ひろこ

いまのことわすれることのおおけれど
それでもできるおかしはなしは

はらの ときこ

こころこめぬわれしえとのぬいぐるみ
ことしもきやくにめでられすわる

かわの としこ

自由律俳句

痛み分け合う杖に秋の陽ざし

松下 満江

草刈りを待って曼珠沙華のまっ赤

岡部 雅江

夕暮れてみんなかくれんぼまたあした

田中 律子

二度咲きの木犀香り主張する

吉野 由恵

飛び出しても今はもう鳴かぬ鳩時計

賤間 由美子

いたみわけあうつえにあきのひざし

まつした みつえ

くさかりをまっまんじゅしゃげのまっか

おかべ まさえ

ゆうぐれてみんなかくれんぼまたあした

たなか りつこ

にどぎきのもくせいかおりしゅちようする

よしの よしえ

とびだしてもいまはもうなかぬはとどけい

ざいま ゆみこ